

科目名	社会科学Ⅱ Social ScienceⅡ			担当教員	大西 正泰 (窓口教員：権藤 典明)		
学 年	5 年	学 期	通年	科目番号	08113	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	履修条件	選択		
学習目標	社会科学の目的は、社会の題材を使って、分析し、自らの幸せを得るための解法を手に入れることにある。本講義では、 1) 経営学の分析ツールを学ぶ。 2) 実際のビジネスの問題について1)を用いて討議し、解法を学ぶ(ケースメソッド)。 3) 1) 2)を通じて、自分の課題(就職など)を分析し、解法を出すことができるようになる。						
進め方	本講義の進め方は、身近な問題(例「なぜAKB48は売れたのか?」)について分析ツール(例「ロングテールの法則」)を用いて討議(マイクロディベート、ジグソー学習、ワールドカフェなど)し、解法を導いていく。そして、自分の課題(例「自分ブランドをどう組み立てていくか」)に応用するという進め方を主とする。						
学習内容	学習項目(時間数)			合格判定水準			
	1. 社会科学は幸せのツールである(4) (1) ガイダンス/「白熱教室」を分析せよ (2) 分析ツールは変える/「AKB」分析 2. 分析ツール【Ⅰ】(10) (1) 社会科学の作法/「12人の怒れる男」 (2) 経営の目的/ホリエモン vs Google? (3) 歴史分析/スティーブジョブズ編 ----- [前期中間試験](2)			1) 分析ツールを理解する。 2) 発言をする。 3) 分析ツールを用いて、課題を解くことができる。 の以上3点を合格判定基準とする。			
	3. 分析ツール【Ⅱ】(8) (1) SWOT分析/4象限で発想する (2) ライフサイクル分析/人生景気曲線 4. 分析ツール【Ⅲ】(6) (1) ポーター&コッターの競争分析 (2) BCG分析/恋愛に応用可能か?			1) 分析ツールを理解する。 2) 発言をする。 3) 分析ツールを用いて、課題を解くことができる。 の以上3点を合格判定基準とする。			
	前期末試験						
	5. 議論をツール化する(8) (1) マイクロディベート (2) ジグソー学習&ワールドカフェ 6. 四国は絶望の島か希望の島か?(6) (1) 新たな競争原理/AKB vs 草食系男子 (2) 四国の最先端/少子高齢化と社会起業 ----- [後期中間試験](2)			1) 分析ツールを理解する。 2) 発言する。 3) 分析ツールを用いて、課題を解くことができる。 の以上3点を合格判定基準とする。			
	7. ケーススタディ“Shikoku”(10) (1) 商店街復活/丸亀町モデル (2) 芸術は観光/直島&神山モデル (3) 特産物一点突破/今治・馬路&上勝モデル (4) 道の駅カクホセヨ/内子&四万十モデル 8. まとめ～機会を作り機会によって自らを変えよ(4)			1) 分析ツールを理解する。 2) 発言する。 3) 分析ツールを用いて、課題を解くことができる。 の以上3点を合格判定基準とする。			
	後期末試験						
	試験返却(1)						
評価方法	評価は、テスト(70%)、講義での発言(10%)、レポート(20%)で行う。						
学習・教育目標との関係	(A) 広い視野と技術者としての倫理観(倫理)						
関連科目	公民Ⅰ(2年) → 公民Ⅱ(3年) → 社会科学Ⅱ(5年)						
教材	ビデオ教材、テーマごとの資料によって行う。						
備考							